

石田一松 いしだ いちまつ 演歌師。明治二十五年十一月十八日廣島縣生れ、昭和二十一年一月十一日歿（九〇二一六）。筆名いちまつ生、藤波天聲。昭和二十一年法政大學法學部卒。在學中添田隆輝坊を知りて演歌師となり、時事小叢のんき節を知られた。二十一年戰後初衆議院選挙に當選。著書『いぢわらわと豫報年誌—皇軍慰問の旅』（京山若丸共著、昭和二十二年四月十六日亞細亞出版社）、『のんき哲學』（昭和二十一年七月一日十五日本元社）、『味なものの』（△△著・讀賣新聞社會部編、昭和二十八年六月二十日現代思潮社）等。

